

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成17年10月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.34



恒例となったサンセット・ウエディング



夕日の里づくり推進会議（佐伯博会長）は、五ヶ瀬町桑野内で十月九日に開催しました。県内外から約千七百人が来場しました。「五ヶ瀬讃歌」を歌っているむたゆうじさんなどのコンサートや神楽公演、「サンセット・ウエディング」などが行われました。



夕日の里のイメージソング「五ヶ瀬讃歌」のCD好評発売中



後藤五ヶ瀬町議会議長もスタッフとして活躍



地元の方によるかっぱ酒のもてなし

「ふるさと林道上岩戸大橋」連結式

高千穂町の上岩戸地区に建設しているふるさと林道上岩戸大橋の連結式が十月十四日に行われました。連結式には地元住民等約六十人が参加しました。
上岩戸大橋は来年二月に完成予定で、全面開通は三月中旬を予定しています。本路線が完成すると、林業生産活動の省力化はもとより、農林産物の流通及び小学生の通学等、住民生活の環境改善など地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。



来年3月に開通予定の上岩戸大橋



スコップで未連結部分にコンクリートを流し込む上岩戸小学校生

＜全体計画＞	
延長	668m
幅員（車道部）	7m
（歩道部）	2m
総事業費	約32億円
＜上岩戸大橋データ＞	
型式	4径間連続PCラーメン箱桁橋
橋長	410m
橋脚の高さ	111m
水面からの高さ	122m

上岩戸大橋以外の橋も順調に整備が進められています

【主要地方道竹田五ヶ瀬線 興地3号橋(露成大橋)】

工事箇所：五ヶ瀬町大字桑野内
橋長：210m
形式：3径間連続PCラーメン箱桁橋



この橋の完成により、地域住民の利便性の向上はもとより、当地区で進めているグリーンツーリズム等、地域の活性化に大いに役立つものと期待されます。

【一般県道宇納間日之影線 新五ヶ瀬橋(神影大橋)】

工事場所：日之影町大字岩井川
橋長：123.8m
形式：下路式バスケットハンドルニールセンローゼ橋



西白杵地域では過去に施工例がみられない形式の橋です。河川内に構造物を構築せず、河川環境への影響を最小とした工法です。

「水と緑の森林づくり条例(案)」・「森林環境税(仮称)構想案」意見交換会

森林は、災害の防止や水源のかん養、木材生産など多面的機能の発揮を通じて、自然環境の保全や県民の暮らしに重要な役割を果たしていますが、木材価格の低迷、担い手の減少・高齢化など、これまでのような森林所有者等林業関係者を主体とした適切な森林の整備や管理がますます困難になりつつあります。このままでは、間伐など手入れの行き届かない森林や植栽未済地などが増加し、森林のもつ多面的機能の発揮に著しい支障をきたし、ひいては、県民生活に重大な影響を及ぼすことが懸念されます。

このようなことから、森林の多面的機能を持続的に発揮させていくためには、森林所有者等林業関係者の一層の努力はもとより、県民の参加による多様な森林づくりを推進する必要があります。

このため、この基本となる「水と緑の森林づくり条例」を平成18年4月に制定することとしています。併せて、県民の皆様の御理解と御協力のもと広く負担を求め、県民参加による森林環境の保全を目指すため「森林環境税(仮称)」を平成18年4月から施行することとしております。

このたび、条例及び森林環境税の案について、西臼杵地区の方々の御意見をお聞きするため、条例については8月30日に、森林環境税については10月11日に意見交換会を実施しました。



間伐等の手入れが行われている森林
間伐が行われた森林は日光が差し込み、林内には下草が茂り小さな樹木も生え土壌の流出を防ぎ雨水を蓄える能力も高まります。



手入れが行われていない森林
間伐が行われないと、林内が薄暗く下草も生えず、表層土壌が流出、水を蓄える能力が低下する恐れがあります。

森林環境税(仮称)の骨子(案)

- (納税義務者) 県内に住所、事業所等を有する個人及び法人等で県民税均等割が課税されている方
- (税率・税額) 個人県民税 年額 500円
法人県民税 均等割(年額)の5%相当額
- (税収規模) 約2億5千万円(平年度ベース)
- (税収使途)
 - 県民の理解と参画による森林づくりの推進
 - ア ボランティア団体等による森林づくり活動支援
 - イ 森林の役割の普及啓発
 - 公益的機能を重視した森林づくりの推進
 - ア 水を貯え災害を防止する森林の整備・保全
 - イ 森林の公有化
- (施行日) 平成18年4月1日
施行後5年を目途として、税制の見直しを検討する。

新商品開発相談会を開催

県物産振興センターは、商品開発やパッケージ等に精通された専門家から直接アドバイスをさせていただき相談会を9月29～30日に西臼杵支庁で実施し、8社が参加されました。



県産品商品開発プロデューサーの「食のデザイン」代表西原昌男さん(左から2番目)

フラワーアレンジ体験学習

子供たちに花と接する楽しさを伝えようと「みやざきの花」普及促進協議会が主催して10月22日に日之影中学校で行いました。



講師の先生の説明を受けながら、1人1セットずつ配られた材料を元に熱心にアレンジを作り上げました。

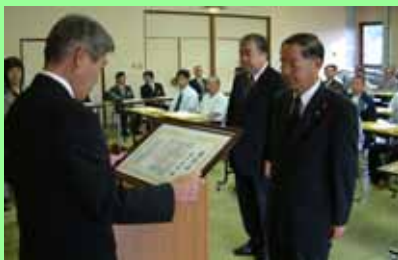
11月4日には五ヶ瀬町内の小学校(4校合同)を対象に、11月22日には高巣野小学校と岩戸中学校を対象に実施が予定されています。



日之影町の国際交流員モーリス・コーネルモーガンさんの参加もあり、終始和気あいあいとした雰囲気で行われました。

「全国野鳥保護のつどい」協力者への感謝状贈呈

今年5月15日に高千穂町で開催された第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」の協力者(西臼杵管内は77団体)に感謝状とともに記録誌、記録ビデオが贈呈されました。



県感謝状を贈呈された高千穂町と国民宿舎高千穂荘(平成17年10月11日)

11月18日は「土木の日」です

11月18日を漢数字(十一月十八日)で書き、組み合わせると「土木」になることから「土木の日」と定められています。道路、橋、トンネル等我々の生活を支えている身近な土木施設を見直しましょう。

第53回県畜産共進会で西臼杵が大活躍

10月7、8日

第53回県畜産共進会の肉用種牛の部に、西臼杵管内から7頭（県全体で62頭）が出品し、すべての部門で優等1席を独占するという快挙を成し遂げました。

肉用種牛の部のグランドチャンピオンに佐藤政俊さんの「ゆりふくの1号」（写真）が選ばれ、更に、肉用種牛の団体優勝を高千穂地区農協が受賞しました。

また、審査競技会女性の部では、甲斐由香里（甲斐博文さんの妻）さんが優勝しました。

すべての賞を西臼杵が独占するという今までにない快挙に、生産者、関係者の喜びは最高潮です。

今回の結果で、ますます肉用牛振興が図られるものと期待されます。

西臼杵からの出品者及び受賞内容

出品区分	序列	生産者	号名
第1類	優等1席	興梶哲法 高千穂町	こすもす
	優等3席 2等	小方幸男 五ヶ瀬町	はな
		甲斐博文 高千穂町	さつき5
第2類	優等1席	佐藤政俊 高千穂町	ゆりふくの1
	優等2席	甲斐大樹 五ヶ瀬町	みよさち
第3類	優等1席	佐藤和男 高千穂町	ひろみ
		興梶哲法 高千穂町	くにこ

出品区分は第1類（生後12ヶ月以上17ヶ月未満）
第2類（生後17ヶ月以上22ヶ月未満）
第3類（親子セットの部）



肉用種牛の部でグランドチャンピオンとなった佐藤政俊さん（左から2番目）と「ゆりふくの1号」

編集後記

高千穂町観光協会は、これまで関西や北部九州に観光宣伝隊を派遣して観光PRを行ってきましたが、今年は、県福岡事務所と連携して北部九州等の多数のマスコミの方々を高千穂に招待し、参加された方々のいろいろな媒体を通じて、魅力ある高千穂をPRする事業を行いました。また、県では、11月から県北・県南地域を重点地域として、「ぼかぼか！宮崎キャンペーン」を実施します。この中で、高千穂町は独自のスタンプラリーを実施します。台風14号の影響を吹き飛ばし、観光客が増加することを期待します。修

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

高千穂町東岸寺土地改良区 通水150周年記念

10月5日

高千穂町岩戸の東岸寺土地改良区は、安政2年（1855年）10月5日の夕方の通水以来、今年で150周年を迎え、記念祭を行いました。

また、東岸寺土地改良区は、県の「ふるさと水と土地域住民活動支援事業補助金」を活用して、稲作体験学習にも取り組んでいます。



9月30日に地域の子供達と一緒に稲刈りと掛け干しの作業を行いました。

第4回西臼杵郡障害者スポーツ大会

10月21日

障害のある人がスポーツを楽しみ、県民の障害者に対する理解を深め、障害者の自立と社会参加に繋げようと高千穂町武道館で開催されました。

実行委員会（藤士光会長）や運営協力員の企画・運営による大会に、多くの参加者が心地よい汗を流しました。



玉入れ(アジャタバスケット)を楽しむ参加者

「神話の里 高千穂モニターツアー」

10月11～13日

高千穂町観光協会は、県福岡事務所と連携して夜神楽など秋の行楽シーズンを前に、福岡県、佐賀県など北部九州のメディア関係者（旅行雑誌社、テレビ、ラジオ局、新聞社）25社、43人を招待し、台風14号による風評被害の一掃とより多くの集客を目指して実施しました。

今回は、高千穂峡や天岩戸神社など代表的な観光コースに加えて、二上神社、中畑神社や秋元神社、土呂久の巨岩石垣の里、常光寺の滝など隠れた名所や日之影町の石垣の村、五ヶ瀬町の五ヶ瀬ワイナリーなどを巡る8コースを案内しました。



中畑神社を視察するマスコミの方々と案内者の田尻高千穂町商工観光課長（一番右）